

報道発表(お知らせ)

- **長岡市震災復興祈念行事で公開デモ実施**
—災害時における衛星通信システムの活用—
 - 平成18年10月20日
-

宇宙航空研究開発機構(JAXA)および情報通信研究機構(NICT)は、平成18年10月23日(月)、新潟県長岡市で行われる長岡市震災復興祈念行事に参加し、衛星通信システムのデモンストレーションおよび展示を行いますのでお知らせします。

- (1)日時： 平成18年10月23日(月) 15:00～19:30
- (2)場所： 長岡市厚生会館 (長岡市大手通1丁目4番地10)
長岡市山古志支所 (長岡市古志竹沢乙461番地)
- (3)内容： JAXAは平成17年11月、長岡市地震防災訓練に参加し、長岡市山古志地区を仮想被災地に見立て、衛星回線を利用した仮想被災地からの映像等の情報収集訓練を実施しました。
- 今回は、長岡市が主催する長岡市震災復興祈念行事に参加し、JAXAが打ち上げる予定の静止通信衛星である技術試験衛星Ⅷ型(ETS-Ⅷ)および超高速インターネット衛星(WINDS)に関連し、山古志支所において、JAXAが開発したウェアラブルカメラを配置し、災害時における衛星システムの有効性のデモンストレーションを行うとともに、NICTが開発した衛星携帯端末と模擬衛星を用いた携帯端末間の通話デモンストレーションを行います。
- また、両会場においてJAXAおよびNICTが開発したETS-ⅧおよびWINDSに関する地上局設備等の展示を行い、災害時における通信衛星の利活用なども併せて紹介します。

(本報道資料に関する問い合わせ先)

【通信衛星関連の展示およびウェアラブルカメラのデモについて】

宇宙航空研究開発機構 広報部 TEL:03-6266-6413～6416
情報通信研究機構 広報室 TEL:042-327-6923

【長岡市震災復興記念行事について】

長岡市役所 山の暮らし再生推進室 TEL:0258-39-2294

通信衛星の利用促進に関するJAXA及びNICT公開ホームページ上のアドレス

ETS－Ⅷ紹介URL:

http://www.jaxa.jp/missions/projects/sat/tsushin/ets8/index_j.html

<http://www.nict.go.jp/w/w122/satcom/index-j.html>

WINDS(超高速インターネット衛星)紹介URL:

http://www.jaxa.jp/missions/projects/sat/tsushin/winds/index_j.html

<http://www.nict.go.jp/w/w122/winds/index.html>

被災地からの情報収集訓練等、過去の活動紹介URL:

<http://i-space.jaxa.jp/experiments/pilot.html>

※参考情報1

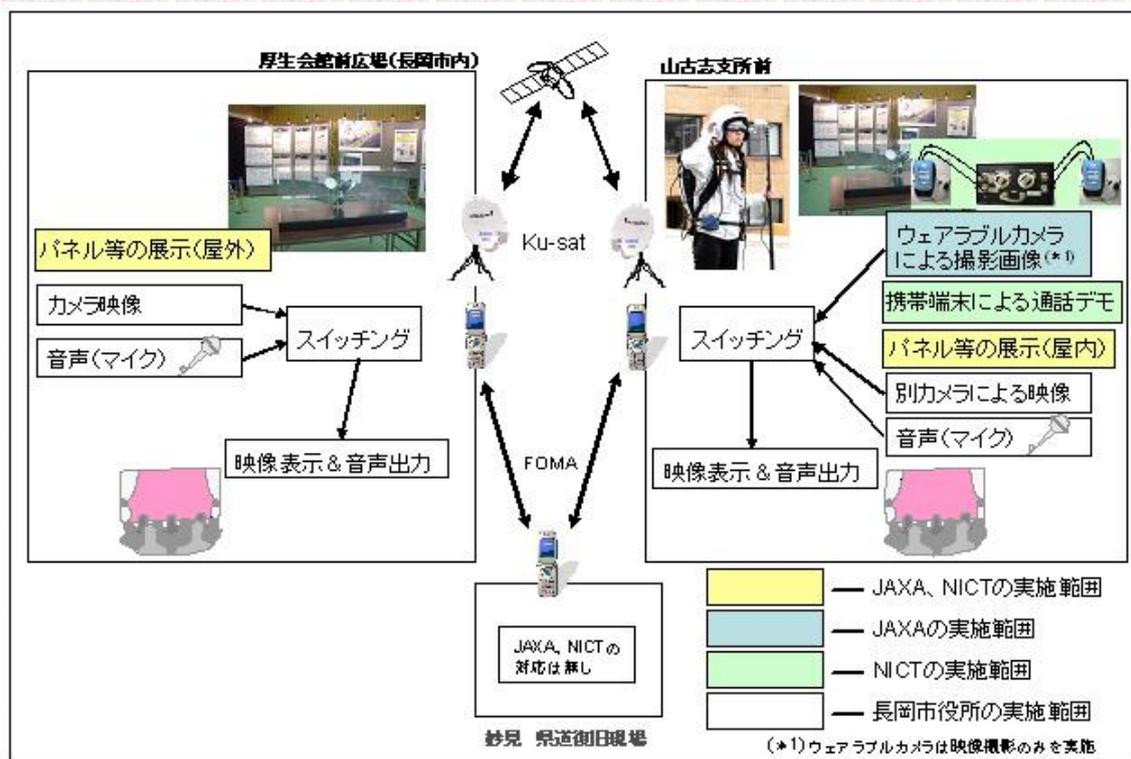
ETS－Ⅷは、移動体衛星通信をもっと便利にすることを目的とした技術試験衛星であり、小型携帯端末から直接通信が可能な世界最大級の大きなアンテナが特長です。JAXA、NICT、日本電信電話(NTT)が共同して開発を行っています。今年度内の打上げを予定しています。

※参考情報2

WINDSは、誰もが高速通信サービスを受けることができることを目的とした超高速で大容量のデータ通信を行うことができる超高速インターネット衛星です。災害速報、情報格差の解消、遠隔医療をはじめとした医療分野、教育分野など、様々な分野での活躍が期待されています。JAXA、NICTが共同して開発を行っており、平成19年度内の打上げを予定しています。

別添1

長岡市震災復興祈念事業におけるJAXA、NICTのデモンストレーションおよび展示



JAXAが開発したウェアラブルカメラについて



被災現場に到着した作業員はウェアラブルカメラを装着します。

作業員のヘルメットに装着したビデオカメラの映像と、GPSアンテナで取得した位置情報を地上無線装置で被災現場に設置した可搬型VSATに伝送します。

IP電話による対策本部、被災現場作業員間の会話もできるため、対策本部の指示に基づいた確かな画像の取得も可能です。

スティックカメラを使用することで、作業員の目が届かない箇所(高所等)の撮影も可能となります。

NICTが開発した衛星携帯端末を用いた音声通信デモンストレーション

- 音声通信デモンストレーションは、技術試験衛星Ⅷ型(ETS-Ⅷ)が打ち上がっていないため、ETS-Ⅷの代わりに模擬衛星を用い、NICTが開発したPDA型端末間で行います。



- ETS-Ⅷ打上げ後は、下図に示す構成で、NICTが開発した衛星携帯端末を用いて音声通信実験を行います。

